

農技セ第6509号
平成26年6月30日

各関係機関長 殿
病害虫防除員 殿

徳島県立農林水産総合技術支援センター
病害虫防除所長
(公印省略)

平成26年度技術情報について

平成26年度技術情報第2号を公表したので送付します。

平成26年度技術情報第2号

平成26年6月30日
徳 島 県

6月5半旬において、オオタバコガのフェロモントラップ誘殺数が著しく増加しました。現地においては発生状況の把握に努めるとともに適切な防除指導をお願いします。

農作物名：野菜類(特に、夏秋ナス、その他トマト、ミニトマト、オクラ、ピーマンなど)
花卉類(キク、バラなど)

病害虫名：オオタバコガ

1. 発生地域 県下全域

2. 発生時期 7月上旬～

3. 発生状況

(1) フェロモントラップ誘殺数

6月5半旬にオオタバコガフェロモントラップの誘殺数(9地点平均値)が急増し、前年と同程度となった。なお、前年の発生は平年より多かった(図1)。

(2) 現地夏秋ナス圃場における発生動向

現地夏秋ナス圃場における産下卵調査(東みよし町で2圃場、三好市で1圃場、阿波市阿波町で5圃場を対象)では、6月17日～20日には25株当たり1.0卵、6月23日～26日にも同1.0卵を確認した(図2)。

また、一部の圃場では幼虫の発生や幼虫による被害果も確認した(図3)。

4. 防除方法等

(1) 被害部位(果実、花蕾)や剪定後の茎葉には卵や幼虫が付着している可能性があるため、圃場外に持ち出して適切に処分する。

(2) 施設栽培では、4mm目合い以下の防虫ネットで開口部を被覆すると、成虫の侵入防止効果がある。

(3) 果実や茎、花蕾に食入した幼虫や、発育が進んだ幼虫に対しては薬効が著しく低下するので、若齢幼虫主体の時期を狙って薬剤防除を行う。

(4) 本虫は作物の花蕾や生長点付近の新葉に1個ずつ産卵する。野外での卵期間は3日程度であるため、7月1～2半旬には幼虫の発生ピークが来ると見込まれる。

(5) 次世代幼虫の発生ピークは7月下旬～8月上旬と予想され、その後はガラガラと常に多い発生状態となり、防除適期がつかみにくくなる場合もあるので、寄生部位を注意深く観察してから防除する。

(6) 防除等の詳細については、徳島県植物防疫指針を参照するとともに、薬剤の使用に当

たつては、必ず農薬ラベル記載事項を遵守する。

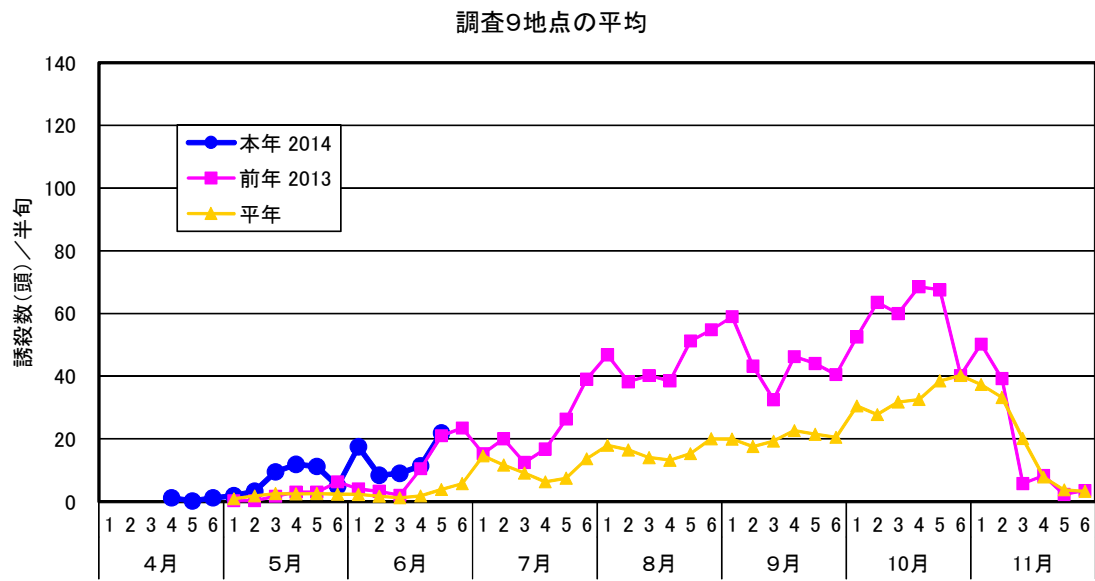


図1 オオタバコガ雄成虫誘殺数の推移

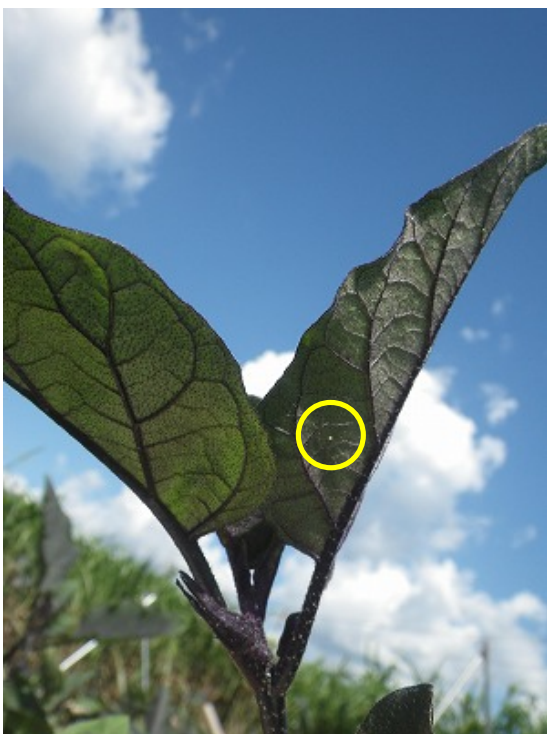


図2 ナスの上位葉に産下された卵（黄色円内）



図3 食害痕と幼虫